



日本を愛した男たちがいた。

第二次世界大戦に隠された歴史の真実

ドキュメンタリー映画

ウォーナーの謎のリスト

金高謙二監督作品



監督・編集：金高謙二 ナレーター：志賀廣太郎 出演：志賀廣太郎、ジェームス・コニチェック、市川和也、伊藤圭太
 証言者：ジョン・タワー、ダニエル・エリセーエフ、アン・モース、ユキオ・リビット、パトリシア・グラハム、カレブ・ウォーナー、阿刀田高、山口静一、矢吹晋、色川大吉、小泉晋弥、早乙女勝元、今まど子、東條文規、新谷純一、杉原誠四郎、増山太郎ほか 撮影：Ken Washington 録音：Shiromi 音楽：小松真理 プロデューサー：森島恒行、花井ひろみ、金高謙二 協力プロデューサー：池原麻里子 製作：シネマボックス、文化を守る映画製作委員会 制作協力：神田古書店連盟 配給・宣伝：シネマボックス 2016年/日本/カラー/136分/16:9ビスタサイズ www.cinemabox.jp/warner



Warner List ウォーナーの謎のリスト

「戦争は狂気である。」我師、新藤兼人はこの言葉を腹に据え100歳まで映画を撮り続けた。戦争は殺戮以外に人間の尊厳となる文化遺産を破壊し続けてきた。異国の文化とはいえ、それらは人類共通の財産のはずである。この題材を通して、第二次世界大戦中に日本の文化財保護のために奔走した人々の想いの一端に触れてみたい。彼らは単に文化財だけを救おうとしたのか？ それは人間を救うことにつながるのか？ そして、戦争回避につながるのか？

戦禍の中で、狂気に立ち向かい勇気ある行動を取った人々の真実を見つめ描きたい。文化財は、人類誕生600万年のDNAが受け継がれた結晶である。その国の文化財の中には、人間の歴史、生活、生き方、考え方、すべてが詰まっている。文化を残すとは、人類の叡智、そして心を後世に継承する事だと思ふ。そういう強い思いでこの映画を作りたい。

監督 金高謙二

【あらすじ】

第二次世界大戦の舞台裏。日本の文化財を救おうとした外国人たちがいた。米国人美術家ラングドン・ウォーナーもその一人。日本において空爆すべきでない151ヶ所のリスト「ウォーナー・リスト」を作成した人物である。

また、世界最大規模を誇る古書店街神田神保町。実はこの一画は、太平洋戦争中空襲を受けなかった。そこには、夏目漱石の門下で、親日家のロシア人の存在が大きく関与されたと言われている。果たして、当時の日本に暮らし、日本文化に触れた外国人たちによって、日本の文化財は本当に救われたのだろうか？ 「ウォーナー・リスト」には、国宝から個人所蔵の宝まで150を超える日本の文化財リストが記されている。例えば、平泉・中尊寺、長野・善光寺、日光・東照宮、出雲大社、鎌倉・大仏、伊勢神宮、厳島神社、延暦寺、平等院、薬師寺、法隆寺、高野山の30の寺院、桂離宮、清水寺、竜谷大学附属図書館、大阪市立図書館、東洋文庫、早稲田大学・仏教図書館と博物館、東京帝国大学・図書館と文学部史料編纂所書庫、上野公園、東京美術学校、東京皇室博物館、皇居、明治神宮、帝国ホテル、団伊能私設コレクション、岩崎私設コレクション（静嘉堂文庫）、前田侯爵私設コレクション、細川私設コレクション（永青文庫）等々。

これだけのリストを外国人がなぜ作れたのか？ その背景には、日本人の有力な力があつた。歴史家でありイェール大学の教授であった朝河貫一。彼こそがウォーナー・リストに多大な影響を与えた日本人である。

また、文化財を保護する目的と人道主義の立場から、ウォーナーと朝河は、太平洋戦争を回避する工作を試みた。それは、ルーズベルト大統領から天皇に親電を送るという大胆な発想だった。この100万分の1の可能性に賭けた男たちの手紙から当時の状況が紐解ける。文化を残す意義。文化財とは人類共通の結晶であり宝である。

アメリカ国立公文書館、議会図書館に残された資料、イェール大学図書館、ハーバード大学図書館、ボストン美術館、台湾国立図書館等の資料をもとに、30名に上る証言者たちが太平洋戦争に隠された知られざる史実を語っていく。

この映画は、第二次世界大戦に隠された知られざる歴史巨編である。

大統領の親電は天皇に届いたのか？



監督・編集：金高謙二 ナレーター：志賀廣太郎 出演：志賀廣太郎、ジェームス・コニチェック、市川和也、伊藤圭太
 証言者：ジョン・タワー、ダニエル・エリセーエフ、アン・モース、ユキオ・リビット、パトリシア・グラハム、カレブ・ウォーナー、阿刀田高、山口静一、矢吹晋、色川大吉、小泉晋弥、早乙女勝元、今まど子、東條文規、新谷純一、杉原誠四郎、増山太郎ほか 撮影：Ken Washington 録音：Shiromi 音楽：小松真理 プロデューサー：森島恒行、花井ひろみ、金高謙二 協力プロデューサー：池原麻里子 製作：シネマボックス、文化を守る映画製作委員会 制作協力：神田古書店連盟 配給・宣伝：シネマボックス 2016年/日本/カラー/136分/16:9ビスタサイズ www.cinemabox.jp/warner

10/29[土]~11/4[金] 11/5[土]~11/13[日]

小学館グループ
神保町シアター
 03-5281-5132 http://jinbocho-theater.jp/
 連日 13:00 15:45 18:30

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
 03-3280-0099 http://www.topmuseum.jp/
 連日 18:30

前売り券取扱店は映画公式HPを参照ください。

特別鑑賞券1,300円(税込)好評発売中!

- 当日料金(税込)：一般1,800円/大・専門生1,500円/中高生1,000円/シニア1,000円/障害者1,000円
- 神保町シアター単館の特別鑑賞券は、両館共通で使用できます。
- 各種割引料金は各劇場へお問い合わせください。

映画についてのお問い合わせ：
 シネマボックス TEL.03-5378-1001

地下鉄神保町駅A7出口3分、JR御茶ノ水駅御茶ノ水橋出口8分
 ＊各回定員制(99席) ＊整理番号制 ＊各回完全入替制
 ●混雑状況により、入場をお断りする場合があります。

JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分、地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
 ＊各回定員入替制 ＊月曜休映(月曜が祝日・振替休日の場合、その翌日が休映)
 ●上映期間中の休映日 11月7日(月)、11月11日(金)